



九州ブロック



発行人：支部長 秦 喜八郎
宮崎県医師会館

ニュースレター No.8 (2017.03)

今回のニュースレターでは、本支部及び各県支部の最近の活動を報告させていただきます。

【九州支部】

●日本プライマリ・ケア連合学会 九州支部役員会・総会

日時：役員会 平成 29 年 2 月 11 日 (土) 16:00~17:00

総会 平成 29 年 2 月 12 日 (日) 12:20~12:50

場所：沖縄県医師会館 (沖縄県島尻郡南風原町新川 2 1 8-9)

(1) 報告・協議事項

- 1) 平成 27 年度歳入歳出決算について
- 2) 日本プライマリ・ケア連合学会第 10 回九州支部総会・講習会
記録集ならびに 10 周年記念誌の作成について
- 3) 第 12 回九州支部総会・講習会について [沖縄；平成 29 年 2 月 11 日、12 日]
- 4) 平成 28 年度歳入歳出予算 (案) について
- 5) 第 13 回九州支部総会・講習会及び第 14 回以降の開催担当県について
- 6) 九州支部代表世話人会を九州支部役員会 (仮称) とすることについて
- 7) 九州支部プライマリ・ケア功労賞被表彰者について
- 8) 九州支部規約の一部変更について
- 9) 九州支部の IT 化 (メールアドレス等の把握) について
- 10)九州支部研修部会の設置について (学生・研修医・専攻医等の研修の企画)
- 11)九州支部総会・講習会におけるプログラム内容について
・専攻医による発表の場の設置検討
・医学生・研修医の参加企画の確保

(2) 九州プライマリ・ケア功労賞 大勝洋祐 氏 (医療法人 三州会代表)

●第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会 九州支部総会・講習会 プログラム

<第 1 日 2 月 11 日(土祝)>

- ・学生企画(13:30~15:00) 演題：みんなで創ろう理想の実習先“琉球 DASH 島”
琉球大学医学部:坂東 美樹、新崎 直輝、饒波 涼子、山崎 真実、石渡 奈菜、上江田 優美、知念 柊子
- ・ポートフォリオ発表会 1(13:30~15:00)
1.ポートフォリオに挑戦！個人指導 & グループディスカッション (初学者・まだ取り掛かっていない専攻医向け)
- ・ポートフォリオ発表会 2(15:15~16:45)
2. ポートフォリオを深めよう！事例を通じた実演フィードバック (指導医も歓迎！) (専門医受験者・指導医用)
- ・日本プライマリ・ケア連合学会 第 12 回九州支部役員会 (16:00~17:00)
- ・ケースカンファレンス(17:00~19:00)
演題：「臨床推論を学ぶ ドクター徳田はこう考える」
講師：独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 本部総合診療顧問 徳田 安春
- ・ワークショップ 1(17:00~19:00)
演題：沖縄の医療史を知ろう 学生～ベテラン医療者が沖縄の医療を語る
講師：沖縄県立中部病院プライマリ・ケア・総合診療科 本村 和久
- ・懇親会(19:00~20:30)
司会：沖縄プライマリ・ケア研究会副会長 本村 和久
臨床研修プログラムなどの紹介
1 施設 5 分程度の口頭プレゼンテーション(projector 有)とポスター掲示
1.沖縄県立中部病院



2. 沖縄県立宮古病院
3. 唐津市民病院きたはた
4. 人吉医療センター
5. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
6. 国立病院機構長崎医療センター
7. アドベンチストメディカルセンター



<第2日 2月12日(日)>

・インタレストグループ(8:00~9:00)

- (1) 演 題: エンドオブライフケアで直面する悩ましい倫理的問題をみんなで考える
講 師: 琉球大学医学部附属病院地域医療部 臨床倫理士 金城 隆展
- (2) 演 題: 60分で身につく神経所見の取り方
講 師: つばさ在宅クリニック 難波 雄亮 ・会場: 第3会議室 ・抄録
- (3) 演 題: 歯やお口のふしぎ発見! ~今どきの口腔ケア、知っていますか?~
講 師: 那覇市保健所健康増進課 主任歯科医師 嘉手納 一彦
- (4) 演 題: ムンプスを深く学ぶ
講 師: アワセ第一医院 浜端宏英



・開会(9:00~9:10)

開会の辞: 第12回九州支部総会・講習会長 仲本 昌一
挨拶: 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部長 秦 喜八郎
来賓挨拶: 沖縄県医師会会長 安里 哲好

・基調講演(9:10~10:00)

演題: 沖縄の医療~ソロプラクティスとプライマリ・ケア~
講師: 沖縄地域医療支援センター 理事・センター長 崎原 永作

・多職種連携シンポジウム(10:10~11:20)

講演: 公開地域ケア会議
医療と介護の連携を考える(ギャップを意識する)
司会: アガベ会 ファミリークリニックきたなかぐすく 院長 涌波 満



・昼食 / ランチョンセミナー(11:30~12:20)

演題: 沖縄県における医療・保健の連携と継承
講師: 友寄内科胃腸科 院長 元那覇市医師会会長 友寄 英毅

・総会(12:20~12:50)

・講演1(13:00~14:20)

演題①: もっとできるぞ禁煙支援 ~UPTODATE~
講 師: はごろも会 仲本病院 院長 玉城 仁
演題②: 未成年への禁煙支援 現状と今後の課題
講 師: 清心会 徳山クリニック 副院長 永吉 奈央子

・講演2(14:30~15:30) ・抄録 会場: ホール

演 題: プライマリ・ケア医に必要なうつ病・自殺予防の知識とスキル
講 師: 一銀クリニック 院長 城間 功旬



・ワークショップ2 在宅医療の多職種連携ワークショップ 1回目: 13:00~14:20、2回目: 14:30~15:50

演題: 退院前カンファレンスやサービス担当者会議の一例から学ぼう!
講師: 稲福内科医院 院長 稲福 徹也、(医) しかじきクリニック 院長 喜納 美津男

・ワークショップ3 前 半: 13:00~14:20、後 半: 14:30~15:50

演題: 離島から発信! 若手総合診療医の歩み方と生きがいを考える。
講師: 与那国町診療所 所長 並木 宏史、国民健康保険大間病院 医長 平野 貴大
公立邑智病院総合診療科 医長 遠藤 健史、弘前大学医学部附属病院総合診療部 助教 小林 只

・ワークショップ4(13:00~14:20)

演題: なんでも質問会 Meet the Experts
琉球大学医学部: 坂東 美樹、新崎 直輝、饒波 涼子、山崎 真実、石渡 奈菜、上江田 優美、知念 柊子

・ワークショップ5(14:30~15:50) ・抄

演題: 共有しよう、多職種連携のTips
講師: ミドリ薬局 美里店 玉城 武範、アドベンチストメディカルセンター 薬剤課 課長 知念 利孝
すこやか薬局 知花店 比嘉 浩一、すこやか薬局 具志川店 砂川 信子

・閉会(15:55~16:00)

閉会の辞: 沖縄プライマリ・ケア研究会副会長 稲福 徹也

【佐賀県支部】

●平成 29 年 1 月 28 日 (土) に、日本プライマリ・ケア連合学会第 4 回佐賀県支部総会を開催した。当日は「災害時の生活を支えるための連携」を考えようというタイトルで、まず初めに佐賀大学医学部附属病院総合診療部の多胡雅毅先生から熊本震災時の佐賀大学病院に転院搬送受け入れの経験について発表してもらった。

次に、東北大学大学院公衆衛生看護学分野・地域ケアシステム看護学分野の原田奈穂子先生から「災害時における多職種連携による生活支援」ということで基調講演をいただいた。その後引き続き原田先生主導のもと、「佐賀県で災害発生時の生活を支えるための連携に何が必要か」を考えるワークショップを行った。

当日の出席者は全部で 47 名、うち医師が 30 名で他の医療職が 11 名、学生が 6 名であった。講演後のアンケートでは、「とても良かった」が約 70%、「良かった」が約 30%で全体的に満足度が高かった。災害時において連携に必要な事柄が良くわかり、また今回の講演やワークショップを通じて参加者同士での新たな連携も生まれた。

Japan Primary Care Association SAGA Chapter,
4th Annual Meeting



「災害時の生活を支えるための連携」を考えよう

日本プライマリ・ケア連合学会 佐賀県支部
第4回学術集会

2017年1月28日(土) 14:00~17:00
佐賀大学医学部 看護学科棟1F レクチャーホール

- ・総会 (14:00~14:10)
- ・事例報告
「熊本地震時の佐賀大学病院への転院搬送患者の受け入れの経験」
講師 多胡 雅毅先生 (佐賀大学医学部附属病院総合診療部)
- ・基調講演
「災害時における多職種連携による生活支援」
講師 原田 奈穂子先生 (東北大学大学院 公衆衛生看護学分野・地域ケアシステム看護学分野)
- ・グループワーク
「佐賀県で災害発生時の生活を支えるための連携には何が必要か」

参加費 / 佐賀県支部会員および学生:無料 非会員:医師 ¥2,000・医師以外 ¥1,000
参加登録方法/参加ご希望の方は、下記のメールアドレスにて事前登録をお願いします。
E-mail: jpcasaga@gmail.com

単位認定 / 本集会参加では、下記の認定単位が付与されます。
日本プライマリ・ケア連合学会:専門医・認定医更新のための単位 2.5単位、
プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位 1単位
日本医師会生涯教育制度:2.5単位

懇親会/17:15~19:00(予定)佐賀大学医学部看護学科棟談話室にて 会費(別途)¥1,000

JPCA佐賀県支部第4回学術集会事務局(担当:坂西 黒髪)

〒849-6501 佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部 地域医療支援学講座内



TEL 0952-34-3000
FAX 0952-34-2091
URL:http://jpcasaga.umin.jp
E-mail:jpcasaga@gmail.com

【熊本県支部】

●1月22日第10回熊本県医療・保険・福祉連携学会に参加した。プライマリ・ケア連携部会は「熊本地震における被災と診療応援を通して見えてきた医師としてのプロフェッショナルリズム」のテーマで、7人の演者による発表があった。当日、学会に先立って、プライマリ・ケア連合学会熊本県支部総会を開催した。

1、報告

- (1) 第9回 熊本県医療保健福祉連携学会 熊本市:熊本テルサ、平成28年2月14日
- (2) 第11回 JPCA九州支部総会・講習会 福岡県:福岡大(福岡市)、平成28年1月30(土)~31日(日)
- (3) 第7回 JPCA学術大会 東京都:浅草ビューホテル等、平成28年6月11日(土)~12日(日)
- (4) 第1回ハンズオンエコー熊本 熊本市:くまもと県民交流会館パレア、平成28年11月23日(水)
- (5) 熊本総合診療研究会の創設

熊本大学医学部 地域医療支援センター 特任准教授の谷口純一先生の発案でH28年4月1日 熊本総合診療研究会(通称:熊総研)が設立され、ホームページも作成され、JPCA熊本県支部の役員も世話人になっている。年4回の世話人会が予定されている。10月1日に第1回ポータルフォリオ検討会・交流会が「くわみず病院」で行われた。

2、今後の予定

- (1) 第12回 JPCA九州支部総会・講習会 沖縄県:沖縄県医師会、H29年2月11日(土)~12日(日)
 - (2) 第8回 JPCA学術大会 香川県:サンポートホール高松等、H29年5月13日(土)~14日(日)
- などへの参加が呼びかけられた。また同日は熊本総合診療研究会の世話人会も行なわれた。



【沖縄県支部】

●H29年2月11日

学生企画「みんなで創ろう理想の実習先“琉球 DASH 島”教育システムまで言及。

ポートフォリオ：個別指導あり、ポートフォリオ3つの発表。

CC：「臨床推論を学ぶ ドクター徳田はこう考える」。

WS1：沖縄の医療史を知ろう 学生～ベテラン医療者が沖縄の医療史を語る。沖縄の医療史を語ることのできる知恵袋と沖縄のことを知りたい者との化学反応。

H29年2月12日

早朝勉強：①エンドオブライフケアで直面する悩ましい倫理的問題をみんなで考える、②60分で身につく神経所見の取り方。動画をつかった明日でも使える、③歯やお口のふしぎ発見！～今どきの口腔ケア、知っていますか？～。誰もが親しみやすく学べる、④ムンプスを深く学ぶ。まさに「深く学ぶ」ものでした。

基調講演 沖縄の医療～ソロプラクティスとプライマリ・ケア：崎原先生の熱い思いが伝わる沖縄の離島医療を俯瞰する。

多職種連携シンポジウム開地域ケア会議：模擬地域ケア会議。

沖縄県における医療・保健の連携と継承：沖縄県の医療史の再認識。

もっとできるぞ禁煙支援：やっぱり健康維持には禁煙。

プライマリ・ケア医に必要なうつ病・自殺予防の知識とスキル：非精神科医でも実行。

在宅医療の多職種連携 WS2：退院前カンファレンスやサービス担当者会議の重要性。

離島から発信！若手総合診療医の歩み方と生きがいを考える WS3。医療だけでなく、島の活性化まで。

なんでも質問会 Meet the Experts：エキスパートと参加者の濃厚接触。

共有しよう、多職種連携のTips：薬剤師の視点から見た多職種連携 WS4 でした。

【鹿児島県支部】

●鹿児島支部会の活動報告

鹿児島支部会では昨年12月から2月までに2題の講演会が開催されたので報告します。

1. 平成28年12月10日(土) 17時30分から鹿児島支部会会員の古川誠二先生(バナウル診療所所長)が主宰する第二回目の「離島医療談義」が鹿児島中央駅前にあるイオンの鹿児島市勤労者交流センター(7階第1会議室)で開催された。3題の演題が提示され活発な意見交換が行われた。はじめに鹿児島赤十字病院の永井慎昌先生が「離島の巡回診療の現状と問題点」と題して講演し、次にBML総合研究所の霧島正浩氏から「離島医療と検査 離島で検査をする上での問題点」についてのお話をいただいた。三番目に朝戸医院副院長の朝戸俊行先生に「離島の医療現場で働くために 離島の現場から」と題して御講演があった。参加者は医師、看護師、技師など多職種で97名であった。親睦会も開催され和やかな内に閉会となった。

2. 平成29年1月31日(火) 18時30分から、鹿児島支部会員である安部智先生(垂水中央病院院長)のもと、平成28年度垂水市在宅医療・介護連携推進事業として在宅医療推進講演会が開催された。会場は垂水ベイサイドホテルアザレア(2階)で、演題は「医療崩壊を乗り越えた夕張から～『地域に求められる地域包括ケアの意義』を問い直す～」と題して、日本プライマリ・ケア連合学会指導医の森田洋之先生に御講演をいただいた。

参加人数は129名であった。